

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2013-16152

(P2013-16152A)

(43) 公開日 平成25年1月24日 (2013.1.24)

(51) Int.Cl.

G06F 17/30 (2006.01)

F I

G06F 17/30 320D

G06F 17/30 170G

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2012-111625 (P2012-111625)
 (22) 出願日 平成24年5月15日 (2012.5.15)
 (31) 優先権主張番号 10-2011-0066755
 (32) 優先日 平成23年7月6日 (2011.7.6)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

(71) 出願人 390019839
 三星電子株式会社
 Samsung Electronics
 Co., Ltd.
 大韓民国京畿道水原市靈通区三星路129
 129, Samsung-ro, Yeon
 g-tong-gu, Suwon-si, G
 yeonggi-do, Republic
 of Korea
 (74) 代理人 110000051
 特許業務法人共生国際特許事務所
 (72) 発明者 崔 哲 ミン
 大韓民国 ソウル特別市 瑞草区 蠶院洞
 ドンアアパート 105棟 1504号

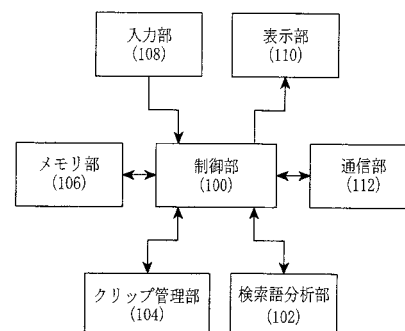
(54) 【発明の名称】 携帯用端末機においてメッセージを送信するための装置及びその方法

(57) 【要約】

【課題】 携帯用端末機において既に保存されているマルチメディアコンテンツからメッセージサービスに活用できるマルチメディアクリップを抽出するための装置及びその方法の提供。

【解決手段】 携帯用端末機においてメッセージを送信するための装置は、マルチメディアクリップの抽出のための検索語を分析する検索語分析部と、既に保存されたコンテンツの中から前記入力された検索語と関連するコンテンツを検索してマルチメディアクリップとして保存するクリップ管理部と、を含む。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

携帯用端末機におけるメッセージを送信するための装置において、
マルチメディアクリップの抽出のための検索語の分析を行う検索語分析部と、
既に保存されたコンテンツについて入力された前記検索語と関連するコンテンツを検索し、マルチメディアクリップとして抽出して保存するクリップ管理部と、を含むことを特徴とする装置。

【請求項 2】

前記携帯用端末機においてメッセージを送信するための装置は、
メッセージ機能の使用中に入力される単語に該当するマルチメディアクリップをメッセージに含ませる処理をする制御部と、を含み、
前記検索語分析部は、メッセージ機能の使用中に入力される単語を区分し、
前記クリップ管理部は、前記検索語分析部によって区分された単語を検索語として用いて検索語に対するマルチメディアクリップを検索することを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

10

【請求項 3】

前記クリップ管理部は、前記検索語に対するマルチメディアクリップを提供するサーバと連動して検索語を送信し、前記サーバから検索語に対するクリップが提供されることを特徴とする請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記クリップ管理部は、既に保存されているコンテンツの分析を可能にするデータをローディングした後、前記ローディングしたデータに検索語が含まれているのかを確認するか、前記検索語の関連検索語を用いて関連するコンテンツを確認することを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

20

【請求項 5】

前記既に保存されているコンテンツの分析を可能にするデータは、
オーディオコンテンツの歌詞、ビデオコンテンツの字幕、マルチメディアコンテンツのメタ情報の中から少なくとも何れか一つを含むことを特徴とする請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

携帯用端末機におけるメッセージを送信するための方法において、
マルチメディアクリップの抽出のための検索語を入力する段階と、
前記入力された検索語と関連するコンテンツを検索する段階と、
前記関連するコンテンツから検索語に対するマルチメディアクリップを抽出して保存する段階と、を含むことを特徴とする方法。

30

【請求項 7】

前記携帯用端末機においてメッセージを送信するための方法は、
メッセージ機能の使用中に入力される単語を区分する段階と、
前記区分した単語を検索語として用いて検索語に対するマルチメディアクリップを検索する段階と、
前記検索語に対するマルチメディアクリップをメッセージに追加して送信する段階と、を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

40

【請求項 8】

前記区分した単語を検索語として用いて検索語に対するクリップを検索する段階は、
前記検索語に対するクリップを提供するサーバと連動して検索語を送信する段階と、
前記サーバから検索語に対するマルチメディアクリップが提供される段階と、を含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記入力した検索語と関連するコンテンツを検索する段階と、
既に保存されているコンテンツの分析を可能にするデータをローディングする段階と、
前記ローディングしたデータに検索語が含まれているのかを確認するか、または前記検

50

索語の関連検索語を用いて関連するコンテンツを確認することを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記既に保存されているコンテンツの分析を可能にするデータは、

オーディオコンテンツの歌詞、ビデオコンテンツの字幕、マルチメディアコンテンツのメタ情報の中から少なくとも何れか一つを含むことを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

携帯用端末機におけるメッセージを送信するための装置において、

マルチメディアクリップの抽出のための検索語を分析し、メッセージ機能の使用中に入力される単語を区分する検索語分析部と、

既に保存されたコンテンツの中で前記入力された検索語と関連するコンテンツを検索してマルチメディアクリップとして保存し、前記検索語分析部によって区分された単語を検索語として用いて検索語に対するマルチメディアクリップを検索するクリップ管理部と、

入力された単語に該当するマルチメディアクリップをメッセージに含ませる処理を行う制御部と、

前記検索語に対するマルチメディアクリップの情報を出力する表示部と、

複数のコンテンツ及び前記検索語と関連するマルチメディアクリップを保存するメモリ部と、

前記マルチメディアクリップの検索のための検索語を入力する入力部と、を含むことを特徴とする装置。

【請求項 12】

前記携帯用端末機においてメッセージを送信するための装置は、

前記検索語に対するマルチメディアクリップをサーバに要請する通信部と、を含み、

前記サーバは、

受信の検索語に該当するマルチメディアクリップを検索して前記携帯用端末機に送信することを特徴とする請求項 11 に記載の装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、携帯用端末機においてメッセージを作成し送信するための装置及びその方法に関し、特に、メッセージ作成中に入力される単語とマッチングしたクリップを自ら保存しているコンテンツから抽出して使用するための装置及びその方法に関する。

【背景技術】

【0002】

近年、携帯用端末機の急激な発達に伴って、無線音声通話及び情報交換可能な携帯用端末機が生活の必需品となっている。携帯用端末機の普及初期には、ただ携帯できて無線通話可能なものとして認識されたが、その技術の発達と無線インターネットの導入に伴って、携帯用端末機は、単なる通話または日程管理などの目的のみならず、ゲーム、短文メッセージ機能、近距離通信を用いるリモコン、搭載のデジタルカメラによる画像撮影と、その活用の範囲が段々広がってユーザの欲求を充足させている。

【0003】

上述の携帯用端末機の機能の中、短文メッセージ機能は、音声通話に比べて比較的安いという長所があるため、ユーザの使用が多い。

また、単純な文字メッセージのみならず動画、写真、音楽ファイル付きのメッセージサービスを行うマルチメディアメッセージサービス(MMS)は、短文メッセージサービスの長所と電子メールサービスの長所を結合した代表的な有無線統合サービスとして、マルチメディアコンテンツを含めて提供することができることから、国内のみならず海外でも携帯用端末機ユーザの使用頻度が高い。

【0004】

このようなマルチメディアメッセージは、テキスト、音楽、画像、動画、リンク情報などを複合的に構成し送受信できるようにするメッセージサービスであり、ユーザはマルチメディアメッセージを介して無線葉書や静止画、動画、動画カード地図、名刺などを送信できる。

さらに、携帯用端末機は、インスタントメッセージ機能を提供して会話ウィンドウを通じてユーザ同士のメッセージのやり取りができるようにする。

一般的に、携帯用端末機のユーザは、メッセージをやり取りする段階において記号を用いて自分の感情を表現することがある。

【0005】

一例として、携帯用端末機は、予め定められた方式の記号を入力して絵文字、フラッシュアニメーションなどのようなマルチメディアコンテンツを送受信して自分の感情を表現できる。

しかし、携帯用端末機は、単なるグラフィック様の絵文字を提供することで、ユーザは自分の感情を音楽、画像などで表現できるが、携帯用端末機において提供する絵文字には制限が有るという問題があった。

従って、上記問題点を解決するために、携帯用端末機において多様なコンテンツで自分の感情の表現するメッセージを介して送信するための装置及びその方法が求められている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】韓国特許公開第10-2010-0101975号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであって、本発明の目的は、携帯用端末機において既に保存されたマルチメディアコンテンツからメッセージサービスに活用できるマルチメディアクリップを抽出するための装置及びその方法を提供することにある。

また、本発明の目的は、携帯用端末機においてメッセージ作成中に入力される単語に該当するマルチメディアクリップを検索するための装置及びその方法を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記目的を達成するためになされた本発明の一態様による携帯用端末機においてメッセージを送信するための装置は、マルチメディアクリップの抽出のための検索語の分析を行う検索語分析部と、既に保存されたコンテンツのうち前記入力された検索語と関連するコンテンツを検索してマルチメディアクリップとして保存するクリップ管理部と、を含むことを特徴とする。

【0009】

上記目的を達成するためになされた本発明の一態様による携帯用端末機においてメッセージを送信するための方法は、マルチメディアクリップの抽出のための検索語を入力する段階と、前記入力された検索語と関連するコンテンツを検索する段階と、前記関連するコンテンツから検索語に対するマルチメディアクリップを抽出して保存する段階と、を含むことを特徴とする。

【0010】

上記目的を達成するためになされた本発明の一態様による携帯用端末機においてメッセージを送信するための装置は、マルチメディアクリップの抽出のための検索語の分析を行い、メッセージ機能使用中に入力された単語を区分する検索語分析部と、既に保存されたコンテンツ中で前記入力された検索語と関連するコンテンツを検索してマルチメディアク

10

20

30

40

50

リップとして保存し、前記検索語分析部によって区分された単語を検索語として用いて検索語に対するマルチメディアクリップを検索するクリップ管理部と、入力された単語に該当するマルチメディアクリップをメッセージに含ませる処理を行う制御部と、前記検索語に対するマルチメディアクリップの情報を出力する表示部と、複数のコンテンツ及び前記検索語と関連するマルチメディアクリップを保存するメモリ部と、前記マルチメディアクリップの検索のための検索語を入力する入力部と、を含むことを特徴とする。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】本発明の一実施形態によるマルチメディアクリップを管理する携帯用端末機の構成を示すブロック図である。

10

【図2】本発明の一実施形態による携帯用端末機においてマルチメディアクリップのリストを更新する段階を説明するためのフローチャートである。

【図3】本発明の一実施形態による携帯用端末機のメッセージ作成の段階を説明するためのフローチャートである。

【図4】本発明の一実施形態による携帯用端末機においてコンテンツからマルチメディアクリップの抽出を行う段階を説明するための図である。

【図5】本発明の一実施形態による携帯用端末機において検索語に該当するマルチメディアクリップの検索を行う段階を説明するための図である。

【図6】本発明の一実施形態による携帯用端末機のメッセージ作成の段階を説明するための図である。

20

【発明を実施するための形態】

【0012】

以下、本発明の携帯用端末機において既に保存されたマルチメディアコンテンツの全体または一部を絵文字のようなマルチメディアクリップに用いるための装置及び方法を実施するための形態の具体例を、図面を参照して詳細に説明する。本発明を説明するに当たって、関連の公知機能或いは構成に対する具体的な説明が本発明の要旨を不明確にする恐れがあると判断される場合には、その詳細な説明を省略する。

【0013】

以下では、本発明による携帯用端末機において既に保存されたマルチメディアコンテンツの全体または一部を絵文字のようなマルチメディアクリップに用いるための装置及び方法に対して説明する。前述のメッセージは、短文メッセージサービス、マルチメディアメッセージサービス、電子メール、メッセンジャー機能を介して入力されるメッセージを示し、マルチメディアクリップは、メッセージ作成中に入力される単語に該当する記号として絵文字、フラッシュアニメーション、画像、音楽などのコンテンツまたはコンテンツの一部になり得る。

30

【0014】

図1は、本発明の一実施形態によるマルチメディアクリップを管理する携帯用端末機の構成を示すブロック図である。

図1を参照すると、携帯用端末機は、制御部100、検索語分析部102、クリップ管理部104、メモリ部106、入力部108、表示部110及び通信部112を含んで構成することができる。

40

【0015】

携帯用端末機の制御部100は、携帯用端末機の全般的な動作を制御する。例えば、音声通話及びデータ通信のための処理及び制御を行い、通常的な機能に加えて、既に保存してあるコンテンツからメッセージに含ませるためのマルチメディアクリップを抽出するように処理する。ここで、マルチメディアクリップは、メッセージ作成中に入力される単語を代替する絵文字、フラッシュアニメーション、画像、音楽などのコンテンツになり得る。

【0016】

制御部100は、ユーザによって入力される単語を検索語にして、入力された単語に該

50

当するマルチメディアクリップを検索の上にユーザに提示し、その中でユーザが選択したマルチメディアクリップをメッセージに含ませるように処理する。例えば、制御部100は、ユーザからの「好」という単語の入力が確認された場合、「好」という単語が含まれた字幕、歌詞、題を含むマルチメディアクリップを検索してメッセージ入力画面に出力するように処理する。この際、制御部100は、メモリ部106に保存されたマルチメディアクリップの中から検索語に該当するマルチメディアクリップを検索するか、検索語を、マルチメディアクリップを管理するサーバに送信した後、サーバから検索語に該当するマルチメディアクリップが提供されるように処理することができる。

【0017】

検索語分析部102は、ユーザによって入力されるデータから文章または単語の区分を行い、区分の文章または単語をマルチメディアクリップの検索のための検索語として用いるように処理する。一例として、検索語分析部102は、ユーザによって「おはようございます」という文章が入力されたことを確認した場合、「おはよう」という単語または「おはようございます」という文章をマルチメディアクリップの検索のための検索語として用いる。さらに、検索語分析部102は、ユーザによって入力された単語または文章と関連する文章をマルチメディアクリップの検索のための検索語として用いてもよい。一例として、「おはようございます」という文章が入力されたことを確認した場合、検索語分析部102は、挨拶、別れ、出会いなどの関連検索語を用いることができる。

【0018】

クリップ管理部104は、既に保存されたコンテンツからマルチメディアクリップを抽出して保存するように処理し、検索語分析部102によって確認された検索語を用いて、ユーザが入力した文章または単語に対するマルチメディアクリップを検索する。

この際、クリップ管理部104は、既に保存されたコンテンツの分析を行うためのデータ（例：音楽コンテンツの歌詞、動画コンテンツの字幕、画像、オーディオ、ビデオのデータを含むマルチメディアコンテンツのメタ情報など）をローディングして、コンテンツが検索語と関連するかを判断した上、検索語と関連するデータをマルチメディアクリップとして抽出し保存する。

さらに、クリップ管理部104は、マルチメディアクリップを提供するサーバと連動する場合、マルチメディアクリップの検索のための検索語をサーバに提供するように処理する。

【0019】

メモリ部106は、ロム、ラム、フラッシュロムで構成される。ロムは、制御部100、検索語分析部102及びクリップ管理部104の処理及び制御のためのプログラムのマイクロコードと各種の参照データを保存する。

ラムは、制御部100のウォーキングメモリであり、各種プログラムを行う際に発生する一時的なデータを保存する。また、フラッシュロムは、電話番号簿、発信メッセージ及び受信メッセージのような更新可能な各種保管用データを保存しコンテンツから抽出したマルチメディアクリップを保存する。

【0020】

入力部108は、0～9の数字キーボタンと、メニューボタン、キャンセルボタン、確認ボタン、通話ボタン、終了ボタン、インターネットアクセスボタン、ナビゲーションキー（又は方向キー）及び文字入力キーなど複数の機能キーを具備し、ユーザが押すキーに対応するキー入力データを制御部100に提供する。さらに、入力部108は、マルチメディアクリップの検索及び登録のための検索語を入力する。

【0021】

表示部110は、携帯用端末機の動作の際に発生する状態情報、文字、多量の動画及び静止画像などを表示する。表示部110は、カラー液晶ディスプレイ装置（LCD）、AMOLEDなどを使用してもよく、タッチ入力装置を具備してタッチ入力方式の携帯用端末機に適用する場合に入力装置として使用してもよい。さらに、表示部110は、本発明の一実施形態によって入力された検索語に該当するマルチメディアクリップの検索を行う

10

20

30

40

50

段階を出力する。

【0022】

通信部112は、アンテナ（図示せず）を介して入出力されるデータの無線信号を送受信処理する機能を行う。例えば、送信の場合、送信するデータをチャンネルコーディング及び拡散した後、RF処理して送信する機能を行い、受信の場合、受信されたRF信号を基底帯域信号に変換して基底帯域信号を逆拡散及びチャンネル復号してデータを復元する機能を行う。さらに、通信部112は、本発明の一実施形態による携帯用端末機がマルチメディアクリップを管理するサーバと連動する場合、クリップ検索のための検索語をサーバに送信する。

【0023】

検索語分析部102及びクリップ管理部104の役割は、携帯用端末機の制御部100によって行われてもよいが、本発明の実施形態において、これを別途に構成して図示したのは説明の便宜のための例示的な構成であって本発明の範囲を制限しようとするものではなく、当業者であれば本発明の範囲内で多様な変形構成が可能であることを理解できるはずである。例えば、これら全てを制御部100で処理するように構成してもよい。

【0024】

図2は、本発明の一実施形態による携帯用端末機において、マルチメディアクリップのリストを更新する段階を説明するためのフローチャートである。

図2を参照すると、マルチメディアクリップは、コンテンツを構成するデータの中、一部データ（コンテンツの一部再生領域）を意味し、携帯用端末機は、最初にステップ201でマルチメディアクリップのリストを更新する段階を行う。ここで、マルチメディアクリップのリストを更新することは、検索語に対するマルチメディアクリップを追加、削除するかまたは変更することを示し、検索語は、携帯用端末機を用いるメッセージ作成に含まれる単語を意味する。

【0025】

以後、携帯用端末機はステップ203に進み、追加しようとするマルチメディアクリップに該当する検索語の確認を行う。ステップ203は、ユーザがメッセージ作成中に相手に送信しようとするマルチメディアクリップに該当する検索語の確認を行う段階である。

以後、携帯用端末機はステップ205に進み、コンテンツの分析が行われるデータをローディングする。ここで、コンテンツ分析が行われるデータは、コンテンツの音楽、コンテンツの歌詞、ビデオコンテンツの字幕、画像、オーディオ、ビデオデータを含むマルチメディアコンテンツのメタ情報になり得る。一例として、コンテンツ分析が行われるデータは、歌詞データを用いて歌詞データに含まれた単語と単語に該当する音楽コンテンツの再生位置を確認できることを意味する。

【0026】

以後、携帯用端末機はステップ207に進み、検索語と関連するコンテンツを確認したかを確認する。ここで、ステップ207は、ステップ205にてローディングを行ったデータ中で検索語を含むデータが存在するかを確認する段階である。

もし、ステップ207で検索語と関連するコンテンツが存在しないことが確認された場合、携帯用端末機は、本アルゴリズムを終了する。

【0027】

一方、ステップ207で検索語と関連するコンテンツの存在を確認した場合、携帯用端末機はステップ209に進み、検索語と関連するコンテンツの一部領域をマルチメディアクリップとして定義した上、ステップ211に進み、マルチメディアクリップを保存するように処理する。すなわち、携帯用端末機は、既に保存されたオーディオ、ビデオ、画像のコンテンツなどから検索語に該当するマルチメディアクリップを抽出し保存して、これをメッセージ作成の際に用いる。

以後、携帯用端末機はこのアルゴリズムを終了する。

【0028】

図3は、本発明の一実施形態による携帯用端末機のメッセージ作成の段階を説明するた

10

20

30

40

50

めのフローチャートである。

図3を参照すると、携帯用端末機は、最初にステップ301でメッセージ作成段階を行う。ここで、メッセージ作成段階は、短文メッセージサービス、マルチメディアメッセージサービス、電子メール、メッセンジャー機能を介してメッセージの作成を行なうことを意味する。

【0029】

以後、携帯用端末機はステップ303に進み、作成のメッセージから検索語を区分した上、ステップ305に進み、検索語に該当するマルチメディアクリップを検索する。

ここで、携帯用端末機は、メッセージ入力ウインドウに入力された文章から単語を区分してマルチメディアクリップの検索のための検索語として用いる。また、携帯用端末機は、図2に示す段階を通して抽出したマルチメディアクリップを直接保存するかまたは検索語を区分した時点で現在保存のコンテンツからマルチメディアクリップを抽出することができる。

10

【0030】

以後、携帯用端末機はステップ307に進み、検索により抽出したマルチメディアクリップをメッセージ入力画面に追加した上、ステップ309に進みメッセージを相手ユーザへ送信する。

すなわち、携帯用端末機は、ユーザによって作成された単語に該当するマルチメディアクリップを相手ユーザに提供し、マルチメディアクリップは上述したように携帯用端末機に保存のコンテンツから抽出されたものである。

20

以後、携帯用端末機はこのアルゴリズムを終了する。

【0031】

以上の説明では、携帯用端末機において検索語に対するマルチメディアクリップを抽出する段階について述べたが、本発明の実施形態による携帯用端末機は、クリップを管理するサーバと連動して、検索語に対するマルチメディアクリップを提供することができる。すなわち、サーバは、複数の検索語に対するマルチメディアクリップを保存し、携帯用端末機が検索語を区分する場合、サーバに検索語に対するマルチメディアクリップの要請を行い、対応するマルチメディアクリップの提供を受けることができる。

【0032】

図4は、本発明の一実施形態による携帯用端末機においてコンテンツからマルチメディアクリップの抽出を行う段階を説明するための図である。

30

図4に示すように、コンテンツは、オーディオコンテンツ、ビデオコンテンツ、画像コンテンツなどを含む。

【0033】

携帯用端末機は、ユーザによって入力される特定検索語が含まれたコンテンツを区分して、マルチメディアクリップの抽出を行う。抽出されたマルチメディアクリップは、検索語が含まれたフレームであってもよい。

すなわち、携帯用端末機は、オーディオコンテンツの歌詞データをローディングした後、検索語が含まれた領域を確認して、マルチメディアクリップとして保存する。この際、携帯用端末機は、検索語に該当する歌詞が再生される区間を確認するかまたは検索語に該当する歌詞が再生される時点に基づいて一定区間の確認を行う。

40

【0034】

一例として、携帯用端末機が「好」という検索語を確認する場合、オーディオコンテンツの歌詞とビデオコンテンツの字幕から「好」という単語が存在する位置を確認し、確認した位置のデータ（「好」という歌詞が再生される区間の音源401、「好」という台詞が再生される区間のフレーム403）をマルチメディアクリップとして保存する（メディアクリップデータベース405）。これに応じて、携帯用端末機のユーザが「好」という単語を入力する場合、携帯用端末機は、「好」が含まれた音源または「好」が含まれたフレームを絵文字に用いることができる。すなわち、携帯用端末機は、オーディオコンテンツの歌詞の中で「○○好き○○」という歌詞が含まれていることを確認した上、「好き」

50

という単語が含まれた音源をマルチメディアクリップとして設定することができる。さらに、携帯用端末機は、男性と女性が会話している場面の中から好きという台詞が含まれた場面（台詞：君が好き）をマルチメディアクリップとして設定することができる。

【0035】

図5は、本発明の一実施形態による携帯用端末機において検索語に該当するマルチメディアクリップの検索を行う段階を説明するための図である。

図5に示すように、携帯用端末機は、メッセージ機能501を介して相手ユーザとメッセージを送受信する。

この際、携帯用端末機は、ユーザによって入力される単語を確認してマルチメディアクリップの検索のための検索語として用いる。

10

【0036】

すなわち、前述のように「好○○」という単語が入力された場合、携帯用端末機は、入力された単語を検索語にして「好」に該当するマルチメディアクリップがメディアクリップデータベース505に保存されているのかを確認する(503)。もし、携帯用端末機が、「好」に該当するマルチメディアクリップが保存されていることを確認した場合、検索語に該当するマルチメディアクリップの保存アドレスを確認して(507)、マルチメディアクリップに対するリストを提供する。上述のように、本発明の実施形態で提示するクリップは、携帯用端末機において予め提供されるマルチメディアクリップではなく、検索語に応じてそのものが保存されているコンテンツから抽出するものであって、このことによってユーザの感情を個性的に表現することができるようになる。

20

【0037】

図6は、本発明の一実施形態による携帯用端末機のメッセージ作成の段階を説明するための図である。

図6に示すように、携帯用端末機は、上述のメッセージ機能601を介して相手ユーザとメッセージを送受信している。

この際、携帯用端末機は、ユーザによって入力される単語を確認してマルチメディアクリップの検索のための検索語として用いる。

【0038】

すなわち、前述のように「好○○」という単語が入力された場合、携帯用端末機は、入力された単語を検索語にして「好」に該当するマルチメディアクリップが保存されているのか確認する。

30

もし、「好」に該当するマルチメディアクリップの保存が確認された場合、携帯用端末機は、検索語に該当するマルチメディアクリップのリストを提供する。

【0039】

すなわち、携帯用端末機は、「好」に該当するマルチメディアクリップで複数のオーディオクリップとビデオクリップのリストを出力する(603)。これによって、携帯用端末機のユーザは、出力のマルチメディアクリップのリストからメッセージに含ませるクリップの選択を行い、携帯用端末機は、ユーザによって選択されるマルチメディアクリップをメッセージに含ませて相手ユーザに送信する(605)。

【0040】

40

上述のように、本発明は、携帯用端末機において既に保存されたコンテンツを絵文字として用いるためのものであって、既に保存されたコンテンツの中から検索語に該当するマルチメディアクリップを抽出して保存の上、メッセージの作成の中に入力される単語に該当するマルチメディアクリップを検索して送信する。これによって、携帯用端末機のユーザは、ユーザの感情を表現するマルチメディアクリップを多様に用いることができる。

一方、本発明の詳細な説明では、具体的な実施形態について説明したが、本発明の範囲を逸脱しない範囲内で多様な変形が可能であることはもちろんである。従って、本発明の範囲は、説明した実施形態に限られるものではなく、後述する特許請求の範囲だけでなく、この特許請求の範囲と均等なものによっても定められなければならない。

【符号の説明】

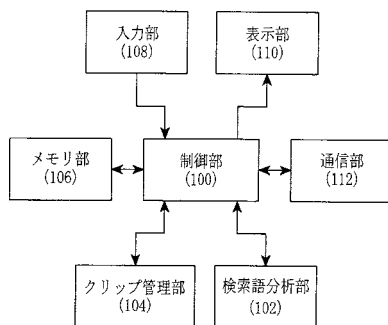
50

【 0 0 4 1 】

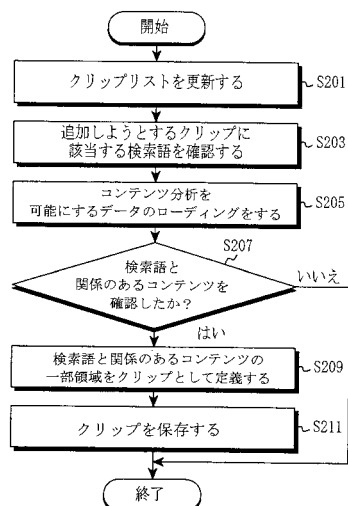
1 0 0	制御部
1 0 2	検索語分析部
1 0 4	クリップ管理部
1 0 6	メモリ部
1 0 8	入力部
1 1 0	表示部
1 1 2	通信部
4 0 1	音源
4 0 3	フレーム
4 0 5、5 0 5	メディアクリップデータベース
5 0 1、6 0 1	メッセージ機能

10

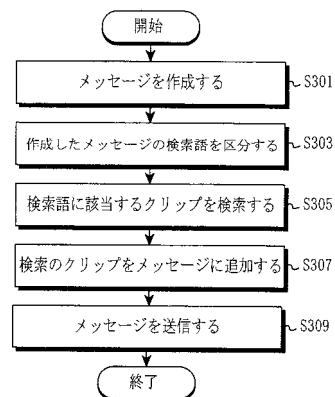
【 図 1 】



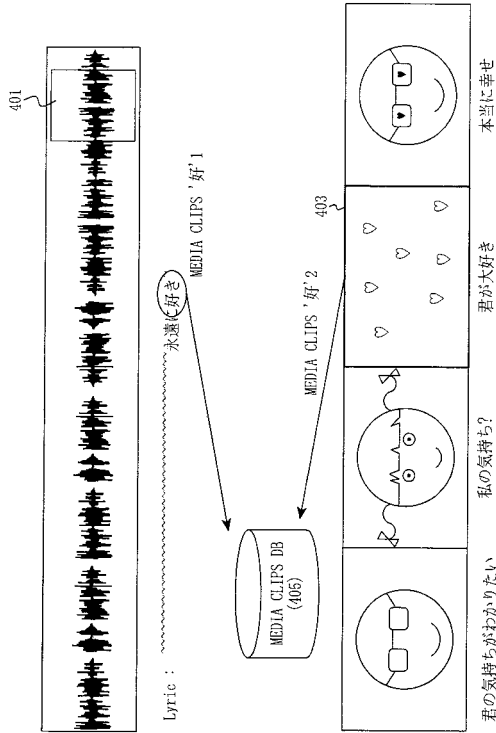
【 図 2 】



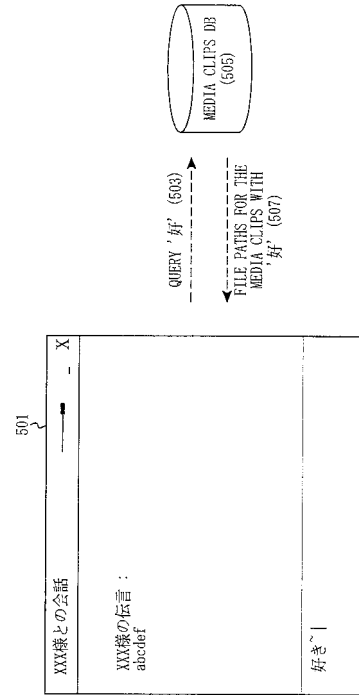
【 図 3 】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

